令和4年８月定例記者会見

日時：令和4年8月23日（火）11時15分～

場所：市川市役所第１庁舎１階ファンクションルーム

（主な会見項目）

〇オミクロン株対応ワクチン接種について（保健部）

〇補正予算について（財政部）

〇監査委員の任命について（総務部）

〇学校給食費を無償とすることについて（学校教育部）

〇市川市下水道条例の一部改正（案）について（水と緑の部）

〇市川市シェアサイクル事業について（道路交通部）

（その他の項目）

〇新しいデザインマンホール蓋の作製について（水と緑の部）

〇「月に吠えらんねえ展」の開催（文化スポーツ部）

〇「市川市健康都市推進講座」受講生の募集（企画部）

〇2022 健康フェスタ（企画部）

令和4年8月定例記者会見

日時：令和4年8月23日（火）午前11時15分
場所：市川市役所第１庁舎１階ファンクションルーム

主な会見項目

タイトル	オミクロン株対応ワクチン接種について
日時	
場所	
内容	１．内容 本市では、国で接種の実施が検討されているオミクロン株対応ワクチンを市民の方へできる限り迅速に接種するため、準備を行っています。 つきましては、現在の準備状況について、お知らせします。 （１）　接種開始時期 １０月中旬以降を予定しています。 （２）　対象者 １２歳以上の１・２回目接種を完了したすべての方を想定しています。 （約４００,０００人） （３）　接種券 対象となるすべての方に対し、１０月初旬より接種券を順次送付する予定です。 （１０月中に約３００,０００通の送付を見込んでいます） （４）　予約など ① 接種の予約は、予約システムと予約コールセンターで受け付けします。 ② 予約相談窓口を開設し、主に高齢者向けの予約サポートを行います。 ③ 接種の詳細については、決まり次第、広報いちかわやＳＮＳで順次お知らせします。
問い合わせ先	保健部　新型コロナウイルス対策課　０４７-７１２-８５６４

タイトル	補正予算について
日時	
場所	
内容	※詳細は別紙参照
問い合わせ先	財政部　財政課　０４７-７１２-８５９５

タイトル	**監査委員の任命について**
日時	
場所	
内容	※詳細は議案参照
問い合わせ先	総務部　人事課　０４７-７１２-８５７３

タイトル	**学校給食費を無償とすることについて**
日時	
場所	
内容	１．目的 　未来を支える人材となる子どもの成長を社会全体で支える施策のひとつとして、子どもたちの安心で充実した食の環境を整える取り組みを進めるため、市立小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校の学校給食費を無償とする条例改正議案を、９月定例会へ上程します。 ２．内容 　中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部・高等部は、令和５年１月からの給食費を無償とするものです。 また、令和５年４月からは、小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部を含む、すべての市立校で無償とするものです。 　小中学校の学校給食費完全無償化を行うのは、中核市規模（人口２０万人以上）の自治体において、県内初、全国的にも類を見ない取り組みとなります。
問い合わせ先	学校教育部　保健体育課　０４７-３８３-９３４２

タイトル	市川市下水道条例の一部改正（案）について
日時	
場所	
内容	１．目的 　　本市下水道事業を将来にわたり安定的・持続的に運営するため、下水道使用料の引き上げを内容とする 　市川市下水道条例の別表の改正を行う議案を９月議会に提出します。 ２．内容 （１）　改定率 「基本料金（１００㎥以下）」及び「１０㎥超３０㎥以下の超過料金」を１㎥あたり２．８％引き上げ 「基本料金（１００㎥超）」及び 「３０㎥超の超過料金」を１㎥あたり５．６％引き上げ ○改定後の下水道使用料の一例（1か月、税抜） １０㎥の場合、現行の９００円から、２５円増の９２５円 ２０㎥の場合、現行２,３３０円から、６５円増の２,３９５円 ３０㎥の場合、現行３,９６０円から、１０５円増の４,０６５円 ２００㎥の場合、現行４７,３７０円から、２,４８０円増の４９,８５０円 （２）　改定予定時期 令和５年４月１日 ※詳細は別紙参照
問い合わせ先	水と緑の部　下水道経営課　０４７-７１２-６３５６

タイトル	**市川市シェアサイクル事業について**
日時	下記参照
場所	下記参照
内容	１．内容 　本市では、まちの活性化や市民の移動等に係る利便性の向上を担う新たな移動手段として、シェアサイクル事業を下記のとおり実施します。 　本事業は、市と民とが協定を締結し、協働で事業を実施するもので、市がサイクルステーションの設置場所として公共施設を提供し、自転車やサイクルステーションの設置と運営を民間のOpenStreet株式会社が行うものです。 　なお、供用開始に先立ち、協働事業者のOpen Street株式会社と協定締結式およびサイクルステーション披露式を実施します。 ２．供用開始日 　令和４年９月１７日（土） ３．サイクルステーション設置施設　市内公共施設２４か所 　行徳支所、南行徳市民センター、全日警ホール、市川市文化会館、行徳文化ホールＩ＆Ｉ、東山魁夷記念館、芳澤ガーデンギャラリー、清華園、塩浜市民体育館、八幡第７駐輪場、JR市川駅北口、JR市川塩浜駅南口、東京メトロ南行徳駅北口、広尾防災公園、行徳駅前公園、南行徳公園、東海面公園、白砂公園、市川公民館、大柏出張所、南行徳公民館、信篤公民館、生涯学習センター、道の駅いちかわ ４．期待できる効果 （１）　利便性の向上 ・ 通勤、通学の手段の補強、ビジネスの移動ツールとして利用 ・ 公共交通機関を補完するものとして利用 （２）　まちの活性 ・ 多方向に移動が可能なため、まちの回遊性向上が期待できる （３）　災害 ・ 災害時の移動手段として有効 （４）　観光 ・ サイクルステーションのネットワークを活用した観光効果 （５）　環境 ・ 車を使わない移動手段として環境負荷の低減 ・ 交通渋滞の緩和等の効果 （６）　健康 ・ 自転車に乗ることでの運動による健康効果 ５．協定締結式およびサイクルステーション披露式 （１）協定締結式 ① 日時：令和４年９月１６日（金）１０時 ② 場所：第１庁舎１階　ファンクションルーム （２）サイクルステーション披露式 ① 日時：令和４年９月１６日（金）１０時３０分 ② 場所：全日警ホールサイクルステーション
問い合わせ先	道路交通部　交通計画課　０４７-７１２-６３４１

その他の項目

タイトル	**新しいデザインマンホール蓋の作製について**
日時	下記参照
場所	下記参照
内容	１．内容 　本市公共下水道事業が、整備着手から６０周年となるのを機に、地域と公共下水道への関心を高めるとともに、維持管理機能の強化を図るために、新しいデザインマンホール蓋３種類を作製しました。 ２．特徴 （１）　地域に親しみを持てるデザイン 　新しいデザインマンホールを設置する地域を、北西部・中部地域、北東部地域、行徳地域の３つに分け、それぞれの地域にふさわしいテーマを選定しました。 ①　北西部・中部地域　江戸川と花火 ②　北東部地域　市川のなしと大町自然観察園 ③　行徳地域　常夜灯と神輿 （２）　蓋の新しい機能 　管路の重要度、位置情報等を把握するための管理番号を付与することにより、維持管理の効率化が図れます。また、災害時には被災箇所の特定ができることから、迅速な復旧対応が可能になります。 ３．今後の活用予定 （１）　令和４年度より、新たに整備する箇所に新しいマンホール蓋を設置していきます。 （２）　下水道事業への理解を深めていただくためのＰＲ展において、カラーマンホール蓋を展示します。 ①　日時：９月５日（月）～９日（金）９時～１７時 ②　場所：第１庁舎１階　ファンクションルーム ※　デザインについての詳細は別紙参照
問い合わせ先	水と緑の部　下水道経営課　０４７-７１２-６３５６

タイトル	**「月に吠えらんねえ展」の開催**
日時	下記参照
場所	下記参照
内容	１．内容 ○「月に吠えらんねえ展～ようこそ！　おもひ　まぼろし　ことだまの街へ～」の開催 　清家雪子氏による漫画『月に吠えらんねえ』は、萩原朔太郎の作品からイメージされたキャラクター【朔くん】を中心に、近代日本の様々な作品から造形された人物たちが織りなす、人間模様の機微や狂気、幻想が混じり合う世界を描いた作品です。 　本展では、登場人物に関する作品やエピソード、萩原朔太郎と文士の交流にスポットをあてててご紹介します。 　また、本市ゆかりの文士の作品からイメージされたキャラクターが登場する清家氏による描き下ろし漫画「イチカワで吠えらんねえ」も展示します。 （１）　日時 　　令和４年１０月８日（土）から１２月１１日（日） 　　平日：１０時～１９時３０分（最終受付は３０分前） 　　土・日曜日、祝日：１０時～１８時（最終受付は３０分前） （２）　会場 　　文学ミュージアム　企画展示室 ２．関連イベント ○ リーディングシアター「月に吠えらんねえ」＆アフタートークショー （１）　内容 　① 第一部　リーディングシアター「月に吠えらんねえ」（出演者：柳沢三千代、萩原朔美ほか） 　② 第二部　アフタートークショー（出演者：清家雪子、安智史、栗原飛宇馬） （２）　開催日時：１０月３０日（日）１３時～／１５時３０分～ （３）　会場：メディアパーク　グリーンスタジオ （４）　入場料：１,０００円（当日払い、展覧会料込） （５）　申込方法：９月１日より往復ハガキ、専用フォームにて申し込み開始（１０月７日締切） （６）　その他 　・ 詳細は市公式Ｗｅｂサイト、広報紙、Ｔｗｉｔｔｅｒにてお知らせします。 　なお、本展は、前橋文学館を中心に全国の文学館や図書館など５０ケ所以上の施設が参加する「萩原朔太郎大全２０２２」へ参加しています。
問い合わせ先	文化スポーツ部　文学ミュージアム　０４７-３２０-３３３４

タイトル	**「市川市健康都市推進講座」受講生の募集**
日時	下記参照
場所	第１庁舎５階 第２委員会室
内容	１．趣 旨 　健康に興味を持ち、自身の健康づくりや家族の健康づくりを積極的に行う市民を増やし、健康都市の考え方を普及する。 ２．内 容 「誰もが心豊かに生きるために」をテーマに和洋女子大学講師による、コロナ禍における健康づくりや、最近ニュース等でよく耳にするＳＤＧｓなどの講座で、皆様の健康生活を応援します。 ３．開催日時 ①9月１７日（土） １３時３０分（開場は３０分前）～１５時３０分 ②9月２４日（土） １４時（開場は３０分前）～１５時３０分 ③１０月1日（土） １４時（開場は３０分前）～１５時３０分 ④１０月１５日（土） １４時（開場は３０分前)～１６時 （全４回の連続講座） ４．対象者：市内在住の方で、原則、全４回出席できる方 ５．定 員：５０名（申込順） ６．受講料：無料 ７．申込方法：８月３１日までに事前申込 　市公式Ｗｅｂサイトからロゴフォームより申込、または申込書をダウンロードしＦＡＸ ８．講 師：和洋女子大学教授等
問い合わせ先	企画部 健康都市推進課 ０４７-７１２-８６４２

タイトル	**２０２２ 健康フェスタ**
日時	令和４年１０月９日（日）１３時～１６時
場所	全日警ホール（市川市八幡市民会館）１階ホール
内容	１．目的 市民を対象に、健康づくりのきっかけとして専門家による講演、体操、協力団体等の展示や体験等を行い、市民の健康増進に寄与する。 ２．内 容： ① 参加団体による展示・体験、測定（握力測定、血管年齢測定、ベジチェック） ② ＳＤＧｓ講演会「南極シェフに聞く！ 南極流 食と暮らし」 講師：南極シェフ 渡貫(わたぬき) 淳子(じゅんこ)氏 ③ 健康都市推進員と一緒にタオル体操 ３．対 象：市川市在住・在勤者（先着１００人） ４．その他 主 催：市川市 共 催：認定NPO法人健康都市活動支援機構 参加団体：市川市健康都市推進員会/京葉ガス株式会社/明治安田生命保険相互会社 ※詳細は別紙参照
問い合わせ先	企画部 健康都市推進課 ０４７-７１２-８６４２

ICHIKAWA

記　者　会　見

令和４年８月23日（火）市川市役所

コロナワクチン・オミクロン株対応接種について

ICHIKAWA

概要

　国の通知に基づき、１・２回目接種を完了したすべての市民に対して、10 月中旬以降にオミクロン株対応接種を行うもの。

要点　１．オミクロン株と従来株の両方に対応したワクチンを使用

２．対象者は１・２回目接種を完了したすべての方（約 400,000 人）

３．接種期間は 9 月 30 日から延長する方向

接種の時期及び接種券

接種の時期：前回の接種から一定の期間が経過した日

（今後得られるデータや諸外国の動向を踏まえ、国で審議し決定する見込み）

接種対象者など　　（前回接種から４か月で接種できる場合）

10 月中接種：約 330,000 人 （前回の接種が 2022 年 6 月まで）	接種券：10 月初旬から年齢別に順次送付 （1 週につき約 10 万件）
11 月中接種：約 53,000 人 （前回の接種が 2022 年 7 月中）	接種券：10 月下旬に送付
12 月中の接種：約 15,000 人 （前回の接種が 2022 年 8 月中）	接種券：11 月下旬に送付

計　398,000 人

担当　　保健部新型コロナウイルス対策課長　　倉　寿賀
TEL　047-712-8564

令和4年9月議会
記者会見資料

令和4年度一般会計9月補正予算（第4号）の主なポイント

今議会に提案する補正予算は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「原油価格・物価高騰等に対する支援」や、学校給食費の無償化に向けた取組みなどの「子育て・教育施策の推進」に係る経費をはじめ、「魅力あるまちづくり」、「保健・福祉の充実」など必要となる経費について増額補正を行う一方、コロナ禍の影響により中止となった事業などについて減額補正を行うものです。

なお、当初予算で計上した財政調整基金積立金の減額及び繰越金により財源調整を行い収支の均衡を図っています。

◎歳出予算

1．原油価格・物価高騰等に対する支援　691,286 千円

※ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

① 事業者電気・ガス料金高騰対策支援金【交付金等】	333,174 千円
② 介護サービス事業所原油価格・物価高騰対策支援金【交付金等】	115,207 千円
③ 障害福祉サービス事業所等原油価格・物価高騰対策支援金	62,250 千円
④ 給食費負担軽減支援金（保育施設等）	51,205 千円
⑤ 公共交通事業者原油価格高騰対策支援金	44,764 千円
⑥ 農業者肥料価格高騰対策支援金【交付金等】	42,777 千円
⑦ 病院食材費高騰対策支援金	20,480 千円
⑧ 中小企業資金繰り支援事業【補助金等】	14,460 千円
⑨ 公立保育園管理運営事業【賄材料費】	5,669 千円
⑩ 観光イベント活性化バス運行委託料	1,300 千円

2．子育て・教育施策の推進　73,176 千円

（1）学校給食費無償化に向けた取組み	**5,143** 千円
① 学校給食費公会計化事業【委託料等】（給食公会計システム改修経費を含む）	5,143 千円

【参考】無償化に伴う学校給食費収入の減 <歳入予算：諸収入に再掲>　▲ 111,084 千円
中学校等の生徒を対象に、令和5年1月から学校給食費の無償化を実施

（2）その他	**68,033** 千円
① 放課後保育クラブ運営事業【委託料】	36,960 千円
② 学校情報化研究事業【物品等修繕料】	25,000 千円
③ 放課後児童健全育成事業補助金　他3事業	6,073 千円

3．魅力あるまちづくり　1,425,391 千円

（1）施設設備の充実・老朽化対策	**1,311,491** 千円
① クリーンセンター整備事業【委託料、積立金】	1,044,367 千円
② 地域コミュニティゾーン整備事業（こども施設）【新設工事費】【継続費】	161,600 千円
③ 霊園維持管理事業【改修工事費】　他6事業	105,524 千円
（2）都市基盤整備	**113,900 千円**
① 道路拡幅整備事業【委託料等】【繰越明許費】	60,900 千円
② 電線類地中化事業【委託料】【繰越明許費】	53,000 千円

4．保健・福祉の充実　253,998 千円

① 老人福祉施設整備費補助金【繰越明許費】	150,000 千円
② 予防接種事業（子どもインフルエンザ）【交付金等】 ※健康管理システム改修経費を含む	99,756 千円
③ 地域介護・福祉空間整備等事業補助金	4,242 千円

５．その他の取組み等　132,694 千円

① クリーンセンター機能維持管理事業【光熱水費】	59,500 千円
② 商店街活性化事業（降ひょう被害への対応）【補助金】	11,553 千円
③ 健康寿命延伸事業【講師謝礼金等】	2,161 千円
④ 政策参与報酬	480 千円
⑤ 障がい者自立支援システム等改修委託料　他16事業	59,000 千円

６．不用額の補正　▲ 96,770 千円

（1）コロナ禍の影響による事業費の減額	**▲ 36,171 千円**
① 花火大会負担金	▲ 33,200 千円
② 海外都市交流事業【委託料等】	▲ 2,971 千円
（2）その他	**▲ 60,599 千円**
① 交通バリアフリー推進事業【補助金】	▲ 54,264 千円
② 保護児童生徒援助費【扶助費】	▲ 6,335 千円

７．補正予算の財源調整（当初予算における積立の減）　▲ 1,265,096 千円

① 財政調整基金積立金	▲ 1,265,096 千円

【歳出予算集計】

(増額補正）

１．原油価格・物価高騰等に対する支援	691,286 千円
２．子育て・教育施策の推進	73,176 千円
３．魅力あるまちづくり	1,425,391 千円
４．保健・福祉の充実	253,998 千円
５．その他の取組み等	132,694 千円
計	2,576,545 千円（Ａ）

(減額補正）

６．不用額の補正	▲ 96,770 千円
７．補正予算の財源調整（当初予算における積立の減）	▲ 1,265,096 千円
計	▲ 1,361,866 千円（Ｂ）

一般会計補正予算総額　（Ａ）＋（Ｂ）　1,214,679 千円

＜債務負担行為：追加＞

・人事システム等構築委託費等	192,000 千円
・次期斎場整備運営事業者選定支援委託費	26,000 千円
・クリーンセンター発電設備修繕料（令和4年度）	303,000 千円
・次期クリーンセンター整備運営事業者選定支援委託費	42,000 千円
・須和田の丘支援学校スクールバス借上料	9,000 千円
・冨貴島小学校放課後保育クラブ建物借上料	206,000 千円

◎歳入予算

① 地方特例交付金	31,976 千円
② 国庫支出金	841,261 千円
③ 県支出金	13,020 千円
④ 寄附金	2,047 千円
⑤ 繰入金	3,672 千円
⑥ 繰越金	83,077 千円
⑦ 諸収入	▲ 70,874 千円
⑧ 市債	310,500 千円
歳入補正予算総額	**1,214,679 千円**

学校給食費無償化のための条例改正議案を上程します

1 目的

子どもの成長を社会全体で支える × 食 ＝ 学校給食費の無償化

子どもを育てることは、未来の日本を支える人材を育てることであり、社会全体で支えていく必要があります。なかでも「食」は重要であり、将来にわたり健康であり続けるための礎のひとつとなります。子どもの成長を社会全体で支える施策のひとつとして、子どもたちの安心で充実した食の環境を整える取り組みを進めるため、学校給食費を無償化するものです。

2 改正内容・施行日

令和5年1月1日施行

R4年度

市立 中学校［15校］
市立義務教育学校(後期課程)
市立特別支援学校(中学部・高等部)

計17校 ⇨ 令和5年1月1日からの給食費を **無償（徴収しない）**

令和5年4月1日施行

R5～年度

市立 小学校［38校］
市立 中学校［15校］
市立義務教育学校
市立特別支援学校

計55校 ⇨ 令和5年4月1日からの給食費を **無償（徴収しない）**

3 財政負担

年間約１７．７億円〔市が負担することとなる学校給食費総額〕

4 −参考− 主な取り組み自治体

	人口	給食費無償の対象		備考
兵庫県　明石市	30万人	ー	中学校	
大阪府　大阪市	275万人	小学校	中学校	コロナ禍の特例措置
千葉県　浦安市	16万人	小学校6年生	中学校3年生	

令和４年８月記者会見用資料

市川市下水道条例の一部改正について

地方公営企業である本市下水道事業を、将来にわたり安定的・持続的に運営するため、下水道使用料の引き上げを内容とする市川市下水道条例の別表の改正を行う議案を９月議会へ提出します。

１．概　要

① 改定の目標　単年度の資金収支改善による、一般会計からの繰入金削減

② 下水道使用料　「基本料金(100㎥以下)」 及び 「10㎥超 30 ㎥以下の超過料金」を１㎥あたり 2．8%引き上げ
「基本料金(100 ㎥超)」 及び「30 ㎥超の超過料金」を１㎥あたり 5．6%引き上げ

③ 引上げ後の下水道使用料の一例（1 か月あたり、税抜）

	使用水量	現行	改定後	差額	計算式(改定後)
小口使用者	10 ㎥	900 円	925 円	25 円	925 円(基本料金のみ)
	20 ㎥	2,330 円	2,395 円	65 円	925 円+147 円×10 ㎥
	30 ㎥	3,960 円	4,065 円	105 円	925 円+147円×10㎥ +167 円×10 ㎥
大口使用者	200 ㎥	47,370 円	49,850 円	2,480 円	※

※ 1,900 円+147 円×10 ㎥+167円×10㎥+198円×20 ㎥+239 円×50㎥+289円×100㎥

④ 改定予定時期　令和５年４月１日

２．経　緯

⑴ 令和３年３月　下水道事業審議会より「今後の下水道使用料のあり方」について答申

≪答申概要≫ ①　下水道使用料　基本料金及び各水量区分の超過料金で一律 5.6%引き上げ
②　改定時期　令和４年４月１日
ただし、新型コロナウイルス感染症による経済的影響を慎重に見極め、柔軟な対応をすること。

⑵ 令和３年８月　新型コロナウイルス第５波による全国的感染者急増のため、市民生活悪化を考慮し、<u>改定時期を令和５年４月１日に延期</u>

⑶ 令和４年８月　一般家庭への負担を軽減させるため、<u>基本料金（100 ㎥以下)及び利用者が全体の約９２%となる30 ㎥以下の超過料金の引き上げ幅を 2.8%に圧縮</u>

３．改定後の下水道使用料について（基本料金及び１㎥あたり超過料金）

単位：円（税抜）

使用水量		現行	改正後	増加額	改定率
基本料金 １０㎥以下含む	100㎥以下	900	925	25	2.8%
	100㎥超	1,800	1,900	100	5.6%
超過料金	１０㎥超 ～ ２０㎥以下	143	147	4	2.8%
	２０㎥超～３０㎥以下	163	167	4	
	３０㎥超 ～ ５０㎥以下	188	198	10	5.6%
	５０㎥超 ～ １００㎥以下	227	239	12	
	１００㎥超～５００㎥以下	274	289	15	
	５００㎥超 ～ 1,０００㎥以下	318	335	17	
	1,０００㎥超 ～ 2,０００㎥以下	363	383	20	
	2，０００㎥超	410	432	22	

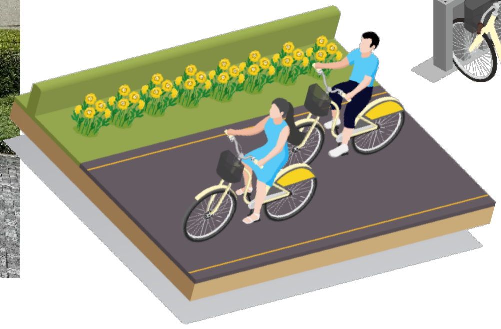
2022年 9月17日(土)スタート！

市川市シェアサイクル事業

＜事業概要＞

市川市では、まちの活性化や市民の移動等に係る利便性の向上を担う新たな移動手段として、シェアサイクル事業を開始します。

本事業は、本市と OpenStreet 株式会社が協定を結び、市はサイクルステーションの場所として公共施設を提供し、OpenStreet 株式会社が自転車やサイクルステーションの設置とシェアサイクルサービス全般の運営を行うものです。

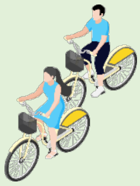


シェアサイクルとは

シェアサイクルとは、自転車を多くの人とシェアする仕組みのことで、サイクルステーションにある自転車を、好きなタイミングや場所で、好きな時間を利用して、好きな場所に返せるサービスです。

期待される効果

- ・交通・移動に関する利便性の向上
- ・回遊性向上によるまちの活性化
- ・災害時の移動手段として有効
- ・環境負荷の低減
- ・交通渋滞や放置自転車の緩和
- ・自転車による健康効果



協働事業者 OpenStreet 株式会社は、国内最大級のシェアサイクルプラットフォーム「HELLO CYCLING」を全国に展開。2022年８月現在、全国87自治体と協定を締結し、ステーション数は約 5,200 ヶ所まで展開し、150 万人以上の利用者を有しています。

HELLO CYCLING

＜問い合わせ先＞

市川市 道路交通部 交通計画課 TEL 047−712−6341

HELLO CYCLING はこちらから

市内のサイクルステーション設置場所は裏面をご覧下さい

市内サイクルステーション設置箇所

No.	名　　　称	所　在　地	ラック予定数
1	行徳支所	末広１丁目１番３１号	１３台
2	南行徳市民センター	南行徳１丁目２１番１号	3台
3	大柏出張所	南大野２丁目３番１９号	3台
4	全日警ホール	八幡４丁目２番１号	7台
5	市川市文化会館	大和田１丁目１番５号	9台
6	行徳文化ホールＩ＆Ｉ	末広１丁目１番４８号	5台
7	東山魁夷記念館	中山１丁目１６番２号	3台
8	芳澤ガーデンギャラリー	真間5丁目１番１８号	5台
9	清華園	中山４丁目１４番１号	6台
10	塩浜市民体育館	塩浜４丁目９番１号	4台
11	八幡第７駐輪場	八幡２丁目４番	8台
12	ＪＲ市川駅北口　いちぼん横		5台
13	ＪＲ市川塩浜駅南口		１０台
14	東京メトロ南行徳駅北口		１０台
15	広尾防災公園	広尾２丁目３番２号	１１台
16	行徳駅前公園	湊新田２丁目４番	１７台
17	南行徳公園	相之川4丁目１番	１４台
18	東海面公園	南行徳４丁目７番	5台
19	白妙公園	富浜１丁目7番	１７台
20	市川公民館	市川２丁目３３番２号	5台
21	南行徳公民館	相之川1丁目３番7号	8台
22	信篤公民館	高谷１丁目8番１号	6台
23	生涯学習センター	鬼高１丁目１番４号	8台
24	道の駅いちかわ	国分6丁目１０番１号	１３台
		合　計	１９５台

※台数については予定数であり、今後変更の可能性あり

令和4年9月議会
記者会見資料

令和3年度決算の主な特徴

【認定第1号】

1．決算規模

一般会計の決算規模は、新型コロナウイルス感染症への対応として生活者支援やワクチン接種を実施したことなどにより、過去最大だった前年度に次ぐ規模となっています。

	3年度	2年度	増減
歳入	**1,845億円**	2,218億円	**（▲373億円、▲16.8%減少）**
歳出	**1,774億円**	2,162億円	**（▲388億円、▲17.9%減少）**

2．市税収納率の向上

市税収入はコロナ禍の影響により減となりましたが、滞納整理の強化や納税環境の整備等により、8年連続で県内第1位の収納率を記録するなど、市税収入の確保に努めました。

	3年度	2年度	増減
市税収納率	**98.9%**	98.7%	**（＋0.2ポイント増加）**
市税収入	**865億円**	866億円	**（▲1億円、▲0.1%減少）**

3．公債費負担比率の低下（改善）

分母となる一般財源等総額では、地方消費税交付金などが増収したこと、分子となる公債費に充当した一般財源では、既往債の償還終了により、前年度に比べ▲0.6ポイント低下（改善）し、6.5%となりました。

3年度	2年度	増減
6.5%	7.1%	**（▲0.6ポイント低下）**

4．経常収支比率の低下（改善）

歳出面では主に、情報システム関連経費の増などにより＋1.6ポイント上昇（悪化）したものの、歳入面において、地方消費税交付金の増などにより、▲1.9ポイント低下（改善）したことから、前年度に比べ▲0.3ポイント低下（改善）し、90.5%となりました。

3年度	2年度	増減
90.5%	90.8%	**（▲0.3ポイント低下）**

5．基金積立金残高の維持（普通会計）

財政調整基金について、地方自治法第233条の2の規定による令和2年度実質収支額からの積立（23億円）を行った一方で、当初予測していた市税の落ち込みが回避されたことや、国の交付金を最大限活用したことなどにより、最終的に繰入れせずに済んだことから、基金積立金残高は増加しています。

	3年度	2年度	増減
	373億円	354億円	**（＋19億円、＋5.4%増加）**
うち財政調整基金残高	**261億円**	238億円	**（＋23億円、＋9.7%増加）**

6．市債現在高の増加（普通会計）

臨時財政対策債などの償還が進んだことにより建設事業債以外の市債は減となる一方で、文化会館の大規模改修などの借入により建設事業債の残高が増加し、市債残高は前年度に比べ2億円増の601億円となりました。

	3年度末	2年度末	増減
	601億円	599億円	**（＋2億円、＋0.3%増加）**
建設事業債	**491億円**	470億円	**（＋21億円、　＋4.5%増加）**
建設事業債以外	**110億円**	129億円	**（▲19億円、▲14.7%減少）**

※このページの金額は、単位未満を四捨五入し、億円単位で表記しています。また、金額の表記に際し、「約」は省略しています。

《実質収支額の状況》

（単位：千円）

会計名	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 C＝A-B	翌年度へ繰り越すべき財源 D	実質収支額 C-D	実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	実質収支比率
一般会計	184,505,838	177,387,460	7,118,378	2,224,586	4,893,792	2,500,000	5.5%
国民健康保険	40,067,046	40,019,440	47,606		47,606		
介護保険	30,679,691	30,245,692	433,999		433,999		
後期高齢者医療	5,713,203	5,694,760	18,443		18,443		
計（特別会計）	76,459,940	75,959,892	500,048	0	500,048		
合計	260,965,778	253,347,352	7,618,426	2,224,586	5,393,840	2,500,000	

【報告第21号】 健全化判断比率（地方公共団体の財政の健全性に関する指標）

指標名	令和3年度	令和2年度	財政健全化法	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	－	11.25%	20%
連結実質赤字比率	－	－	16.25%	30%
実質公債費比率	1.6%	1.7%	25%	35%
将来負担比率	－	－	350%	

【報告第22号】 資金不足比率（地方公営企業の経営の健全性に関する指標）

指標名	区分	令和3年度	令和2年度	財政健全化法
				経営健全化基準
資金不足比率	下水道事業	－	－	20%

【報告第23号】 継続費の継続年度終了による精算（地方自治法施行令第145条第2項）

＜一般会計＞

（単位：円）

款	項	事業名	年度	計画事業費（年割額計）	支出済額	比較（差額）
総務費	総務管理費	文化会館大規模改修事業	R2～R3	6,363,000,000	6,310,590,000	52,410,000
土木費	道路橋りょう費	市道0232号道路拡幅整備事業	R2～R3	110,000,000	105,716,600	4,283,400
		市道0233号道路拡幅整備事業	R2～R3	70,000,000	67,272,700	2,727,300
	河川費	鬼高排水機場改修事業	R元～R3	500,000,000	410,473,800	89,526,200
		地域コミュニティゾーン排水路整備事業	R2～R3	140,000,000	139,979,400	20,600
教育費	中学校費	塩浜学園校舎・屋内運動場建替事業	H30～R3	4,330,000,000	4,246,676,400	83,323,600

新デザインマンホール蓋

行徳地域
『常夜灯と神輿』

江戸川の水運で栄えた行徳。

昔の風景をイメージしたマンホール蓋を製作。当時の行徳は塩田が広がり、塩を運搬するために始まった「行徳船」は江戸と行徳をつなぐ架け橋となりました。その後、新河岸として整備され、やがて塩だけでなく人や物資の運搬も盛んになり、文化９年に航路の安全祈願のため常夜灯が建てられます。

また、船を待つ客で賑い、行徳の名物としても広まった「笹屋」のうどん。今でも安政元年に建てられた建物が残っています。寺や神社が多く、腕利きの宮大工が集まっていたと言われる行徳。一説には、徳川家光の頃、日光東照宮造りに携わった匠たちが天領地であった行徳の地を譲り受けたのが始まりとも言われています。その技術を活かして神輿の製作が始まり、今井橋が整備される以前は神輿を船で運んでいたと言われており、それらをイメージしてデザインしました。

現在でも行徳は日本有数の神輿の産地となっています。

北西部・中部地域
『江戸川と花火』

四季を通じて魅力あふれる江戸川。

市川市に残された貴重な自然であり、東京から鉄橋で江戸川を渡ると北側にまず目に入る真間山から国府台にかけて広がる斜面林と、市民が選ぶ景観 100 選第１位の江戸川をメインに市川市を代表する様々な季節の景観をイメージしたマンホール蓋です。

春には江戸川沿いの桜が満開になり、夏には花火大会が開催されます。この花火大会は江戸時代からの伝統を受け継ぐと同時に、常に新しいことに挑戦し続ける花火師により、毎年演出を替える工夫を凝らしつつ市川らしさを残した花火が楽しめ、多くの人でにぎわいます。また、江戸川の下流域はハゼ釣りのメッカでもあり、秋には全盛期を迎え、多くの人々に親しまれています。

北東部地域
『市川のなしと大町自然観察園』

貴重な自然が保全されている長田谷津。

市川市域の中部から北部の自然を特徴づける存在である谷津。なかでもその自然がほぼそのまま保全された長田谷津（大町自然観察園）と県内トップクラスの産出額を誇る梨をデザインしたマンホール蓋です。

千葉県は全国一の梨生産地であり、その中でも市川市は梨の一大産地になっています。市川市で栽培される梨は、その知名度や歴史などが総合的に評価され『市川のなし』として地域ブランドの認証を受けました。

長田谷津は自然をいかした大町自然観察園として、植生の移り変わりはあるものの、現在もヘイケボタルやツリフネソウなどが生息する自然豊かな場所となっています。長田谷津の周辺には梨畑が広がり、雨水の浸透面となっているため、谷津の湧水が保たれています。

萩原朔太郎大全2022

令和4年度市川市文学ミュージアム企画展

月に吠(ほ)えらんねえ展

~ようこそ! おもひ まぼろし ことだまの街へ~

2022年

10月8日(土)~

12月11日(日)

開館時間◉平日10時~19時30分/
土日祝10時~18時
(入館は閉館の30分前まで)

会場◉市川市文学ミュージアム
企画展示室

休館日◉月曜日(10月10日は開館)、
10月11日、28日、11月30日

観覧料◉一般500円(400円)、
65歳以上400円(300円)、
高大生250円(200円)
中学生以下無料
※( )内は25名以上の団体料金
※障害者手帳をお持ちの方と
付添の方1名無料

主催◉市川市

監修◉安智史 栗原飛宇馬

協力◉清家雪子 講談社 前橋文学館 日本近代文学館ほか

市川市文学ミュージアム

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 市川市生涯学習センター(中央図書館)2階 Tel: 047-320-3334

萩原朔太郎大全2022

市川市

健康都市推進講座

受講者募集

参加 **無料**

定員 **50名**

和洋女子大学の
専門の先生が講師

きっと誰かに話したくなる!?

健康の秘訣

厳選 4 講座

① 9.17 Sat

13:30 ► 15:30

開講式

溢れる健康情報に流されないために
知っておきたい疫学的な見方

② 9.24 Sat

14:00 ► 15:30

踊りの動きを日常生活にとりいれて、
からだも心もイキイキと！

③ 10.1 Sat

14:00 ► 15:30

コロナ禍における健康づくり

④ 10.15 Sat

14:00 ► 16:00

頑張れ日本のSDGs

閉講式

場所	市川市役所 第1庁舎 5階 第2委員会室	**申込方法**	市公式Webサイト（LoGoフォーム）から申し込み 又は、申込書を健康都市推進課にFAX （申込書はチラシ裏面）
対象	市内在住の方で 原則全4回出席できる方	**申込締切**	令和4年8月31日（水）

LoGoフォーム

市川市 健康都市推進課

2022 健康フェスタ

展示ブース
健康チェックもできる！

SDGs講演会
講師はあの南極シェフ！

タオル体操
どこでも気軽に健康促進！

2022
10/9 SUN
13:00→16:00
全日警ホール 1階 ホール
（裏面参照）

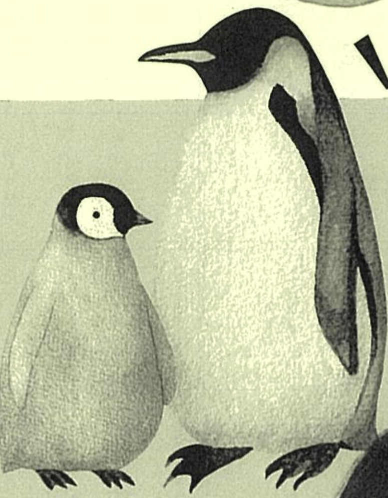
事前申込制
先着
100名

プログラム

13:00	開場
13:00►13:55	参加協力団体による展示ブース 健康チェックができます！（握力測定、血管年齢測定、ベジチェックなど）
14:00►15:30	SDGs講演会「南極シェフに聞く！南極流 食と暮らし」
15:30►15:45	健康都市推進員と一緒にタオル体操

講演会前にぜひお試しください！

参加者全員に
Present
体操用タオル、グッズなど差し上げます！



SDGs講演会

南極シェフに聞く！

南極流 食と暮らし

Check it out!
レシピ本「悪魔のおにぎり」
テレビ出演「世界一受けたい授業」

やみつきになる「悪魔のおにぎり」のレシピ本出版やテレビ出演で話題の渡貫淳子さん。限られた水・食材・エネルギーに加え、自然環境の保護という観点からごみの排出や排水にも気を遣う南極生活。様々な制約下で隊員の食と心を支えた経験には、環境に優しい食や生活のヒントがたくさんあります。みなさんもサスティナブルな毎日をはじめましょう。

参加される方は **13：55** までにご入場ください。

講師

南極シェフ
渡貫 淳子氏
わたぬき じゅんこ

南極で働きたいとの思いを抱き、第57次南極地域観測隊の調理隊員として1年4か月間南極で生活。どんなことがあっても帰ることはできない、30人で仕事と生活のすべてを担う南極での経験を帰国後、新聞、雑誌、テレビ、講演などで伝え、多方面で活躍。「ママさん南極調理隊員」として日テレ「世界一受けたい授業」に出演し話題となる。

2022 健康フェスタ 申込方法

FAX 裏面申込書を健康都市推進課にFAX（047-712-8763）

LoGoフォーム 右記2次元コードから申し込み

LoGoフォーム

● 先着100名（定員になり次第終了） ● 申し込み締切：9/30（金）

主　催：市川市
共　催：認定NPO法人健康都市活動支援機構
協力団体：市川市健康都市推進員会、明治安田生命保険相互会社、京葉ガス株式会社

お問合せ先 **市川市 健康都市推進課 TEL：047-712-8642**